

第1回 新潟市観光アクションプラン（仮称）策定委員会 議事録

日時	令和6年10月23日（水）午後3時30分～5時00分
会場	新潟市中央公民館3階 304講座室
出席者	別紙「出席者一覧」参照
議事	※敬称については省略させていただきます。
1. 委員長あいさつ	<p>新潟市観光・国際交流部 関川部長より開会の挨拶があった。 （挨拶要旨）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新潟駅のリニューアル工事や「佐渡島の金山」世界文化遺産登録など、新潟市では観光の好機を迎えている。</li><li>・観光客誘致や観光需要増加に向けた事業を、今まで以上に戦略的に進めていく必要がある。</li><li>・そのための手段として、ビッグデータ分析を活用した観光動態調査の実施や、観光アクションプランの策定を予定している。</li><li>・委員の皆様には、アクションプランの策定にむけてご意見やご助言をいただきたい。</li></ul>
2. 事業概要説明	<p>新潟市観光・国際交流部観光政策課 明間課長より事業概要について説明があった。 （質疑応答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・主にワーキングメンバーで課題などを明らかにしていくということか。（能登谷） →お見込みのとおり。メインはワーキングで検討を考えている。（明間）</li><li>・資料「ビッグデータを活用した新潟市観光動態調査」の13ページにおいて、すでに現状及び課題整理がされているようだが。（松宮） →これはあくまでも調査受託事業者の提案。現状認識や課題については、翌日のワーキンググループ会議において検討を予定している。（明間）</li><li>・ワーキンググループ会議の検討結果などは、委員へ適宜フィードバックが必要。（山口） →そのように対応する。（明間）</li></ul>
3. 他自治体事例紹介／4. その他（意見交換）	<p>外部専門家の大下先生より、レジュメを基に他自治体の事例が紹介された。 （質疑応答・意見交換）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・移住、定住を観光に結び付けるという発想は感銘を受けた。雪国というマイナスイメージがあるが、自身では新潟市は住む場所としては一番だと思っている。移住、定住を見据えた観光の取り組みを推し進めていけたらいいと思う。（曾根）</li><li>・本市の食料自給率の高さも売り。京都のように外国人であふれているような観光から、オーバーツーリズムの弊害がなく、ゆったり楽しめる観光にチェンジしていくのではないかと。（曾根）</li><li>・石垣島にいたことがあるが、交流人口が増えたことで結果的に定住人口も増えた。交流人口を増やすための施策の検討も必要だと思う。（松宮）</li></ul>

- ・本市の「いいところ」を探すには、まずはコンセプトを見つけていった方が良いと思う。(松宮)
- ・新潟市も合併して広がった。いっぱいいい所はあるが、どこに行ったらいいか分からないと感じる人は多いと思う。全体的な情報がまとまっているものがあると良い。(早川)
- ・着地型の観光コンテンツが必要。観光バスが立ち寄れる場所が少ない。インバウンド需要を取り込むにも交通の問題がある。(沢)
- ・アクションプランは広域を意識しているのか。(沢)
  - 8区への波及は考えている。現実的で実現性のあるプランである必要があるため、どこに注力していくのかという議論は必要。(明間)
- ・ビッグデータを活用した観光動態調査は、観光で来てもらう人をどのように増やすのか、どのようにお金を落としてもらうのか検討するために使うのだと思う。調査対象などを今一度教えて欲しい。(能登谷)
  - 調査対象は県外から本市に訪れる県外来訪者と、海外から本市を訪れるインバウンド。調査期間は昨年6月から今年の5月までの1年間で、本市での消費傾向や、人流傾向を調査する予定。(事務局)
- ・観光とは、地域経済の活性化であり、関わる人が儲かることだと思う。まずは、「交流人口の拡大」に関わる人が目的に取り組んで欲しい。(山口)
- ・MICEの推進は、他都市との奪い合いの状況。調査で得られた強み、弱みなどをSWOT分析などで分析するなどしていった方がいい。(山口)
- ・「新潟市ってこういうところ」という、対外的にPRしていくためのコンセプトをしっかり定めていく必要がある。新潟県の計画とも整合性を取った方がいい。(山口)
- ・集客と消費の拡大。そのためには、ブランディングによる付加価値で客単価を上昇させる必要がある。(大下)
- ・「県外から友人が来たらどこを案内しますか？」というような質問は、その人の潜在的な「新潟」の魅力を表していると思う。ワーキング会議では、そのような問いかけなどもしていこうと考えている。(大下)
- ・ビッグデータ調査の結果はあくまでも参考。データも意識した上で、どこのターゲットをどのように攻めていくのかは、皆さんの思い次第。(大下)
- ・アクションプランを検討する上で、「オーバーツーリズム」や「観光危機管理」などについてもきちんと考えていく必要がある。必要最低限のやるべきことは記載しつつ、2年以内に実現可能なプランを検討していく必要がある。(大下)
- ・アクションプランには目標(数値)は定めた方がいいのか。(山口)
  - 内部の指標としてあればいいと思うが、公開する必要はないのではないかなと思う。(大下)

以上